



権兵衛峠頂上ジャンボカラマツの森を歩く

9月27日(火)、連日の雨の合間、久しぶりの快晴に恵まれました。市役所をバスで出発し、権兵衛峠トンネルを越え、峠道を約40分走ると駐車場に到着。ストレッチ体操の後、いざトレッキング開始です。

権兵衛峠頂上までの道端にはアキノキノコが咲いていました。このあたりには食用キノコはあまり見当たりません。途中、伊那市街や南アルプスを見ながら伊那や木曾の分岐点、峠の頂上に到着しました。この険しい道を人や馬が、米や荷物を苦勞して運んだと思うと感無量でした。また、ここは古畑権兵衛記念碑や分水碑等があり説明を聞きながら先へ進み、木曾(伊那)用水枡跡を見学。長さ12km

に及ぶ用水路の一端を見て「命の水」を求めた先人たちの苦勞をしのび、忘れることの出来ない歴史を感じました。

ここから道は整備されていますが勾配の急な山道に入ります。途中見晴らしの良い所にベンチがあり、北アルプス乗鞍岳の見えるスポット、南アルプス仙丈ヶ岳、北岳等の眺望を楽しめる場所などで休憩を取りながら登りました。登りきると道は平坦になり歩きやすくなりました。道の両側にはさまざまなキノコが出ていて、食用キノコを見つける人もいました。目的地へ続く山道の途中にある『絆のカラマツ』に到着。2本のカラマツが道祖神のように寄り添って見えることや、過去と現在を結び

ちょっとお出かけ い〜な旅
2016/09/27 (火)

平成28年度 第5回

い〜なガイドの会
プロジェクトメンバー
金子 舜平

付けているようにみえることからこの名が付けられたようです。独特な形状に見られました。

その先100mほど歩くとジャンボカラマツ、目的地に到着です。幹周408㍉、樹高34㍎、樹齢250年以上、その偉大さ！見事さ！に感激。思わず拝みたくなる崇高な気持ちになりました。木の周りで昼食の後、下山しました。

帰路は与地から南アルプスの景観を楽しみ、みはらしファームに立ち寄り、予定より早く市役所に到着。参加者からは「このツアーで伊那市を再発見した。次も行きたい」という声が聞かれました。